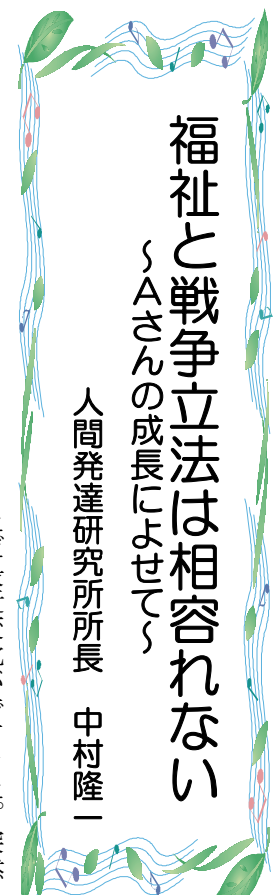




題字 藤本利夫書

〈1988年7月9日創刊〉  
 発行2015年9月1日 〈毎月1日発行〉  
**滋賀県民主教育研究所**  
 〒520-0052大津市朝日が丘1丁目  
 11-3 教育文化会館2F  
 TEL & FAX 077-525-5364  
 教育110番 077-523-3715  
 e-メールshiga.minken@gmail.com  
 HP:http://shiga-minken.jindo.com/  
 振替口座番号(会費振込にご利用ください)  
 ①ゆうちょ銀行/記号番号01070-5-40576  
 ②滋賀銀行本店営業部/普通口座511256  
 加入者(口座)名 滋賀県民主教育研究所



# 福祉と戦争立法は相容れない

## ～Aさんの成長によせて～

人間発達研究所所長 中村隆一

ただ最近変化ができてきた。突然A

私の発達相談のしごとは、幼児期から成人期まで、主に知的障害のある人の地域生活支援だ。なかなか出口の見つけられない場合も多い。そのだからなおのこと少しの変化でも無性にうれしい。

Aさんは知的障害のある20代の男性。しごとは福祉的就労の工場で働いている。家からは遠方のため朝早く出勤し夕方遅く帰宅する。家に帰るとともかく作業着を脱ぎ捨て長時間手を洗う。相談の発端はこの行動をなんとかしてほしい、というご家族の訴えだった。帰宅後、長時間の手洗いが終わるとAさんは、ゲームを夜中までしている。そのため翌日起床できず欠勤も多い。こうした場合、問題になっていくことは簡単そうに見えるがなかなか解決をしない。「ともかくAさんののぞんでいることをまずつかもう」とお母さんとも話し合った。本人にも「何が夢? やりたいことは?」と尋ねるが、「べつに」というばかり。

さんからメールがきた。「映画行きましょう」というお誘い。万難を排して一緒に映画を見に行く。付き添っているとお金の計算も切符の買い方もきちんと理解できている。にもかかわらず、ひとりで外出することができない。何度かこうした外出をくりかえしているうちに気づいたことがある。メールアドレスは驚く程たくさんもっている。にもかかわらずほとんど使っていない。目的と手段が転倒している。でも、たかさんのメールアドレスがあるのは社会と接点を持ちたいという証拠でもあるのだろう。映画だけではなく外食も散髪もひとりで行けない。一緒に牛丼を食べに行こうと誘っても「野菜が嫌い。タマネギが残つたらどうしよう」という。「自分のお金で食べるんやから食べられへんかったら残せばいい」というと、「特盛り」を注文。完食したが感想は「多すぎた」。以降牛丼屋さんにはひとりで行けるようになった。

### 《 今月の紙面 》

- ・福祉と戦争立法は相容れない～Aさんの成長に寄せて～/中村隆一 ……P1
- ・主権者教育を考える/岸本 実 ……P2～3
- ・【教育実践】私がここにいる理由(わけ)/森田和行 ……P4～5
- ・人間の命もフクシマも顧みずに一 鹿兒島地裁が川内原発の再稼働を認める — /杉原秀典 ……P6
- ・地域民主教育全国交流研究会近江八幡集会へ/北川健次 ……p7
- ・学力テストを問う/竹腰宏見 …… P8

最近メールが来た。「ターミネーター面白いですよ」。てっきりまたお誘いのメールだと想ったら、職場の仲間と見に行ったとのこと。もう私の支援は用済みになった。  
 近年これまで以上に自立にむけて、スキルが重視される。確かにスキルも重要だが、自立に向けては「一緒に願いを叶える」存在が見えることもスキルと同じように重要なのだろう。アクション映画好きの私としては、第二のAさんを探さなければ…。戦争は、こんなAさんの姿をいとも簡単に押しつぶしてしまうだろう。福祉と戦争立法は相容れない。戦争立法反対の声をいっそう大きく、これが私のいまの願いです。  
 (なかむら りゆういち)